

東建パブリニュース

平成29年6月16日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成29年6月13日 日本経済新聞 P. 33

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

賃貸住宅建設・仲介大手の東建コーポレーションは社員の結婚、出産に対する祝い金や病気や事故などで亡くなった場合の見舞金を今月から増額する。2027年開業のリニア中央新幹線などに向けた建設需要が高まり、人材の獲得競争が激しくなる見込み。待遇を手厚くすることで人材の定着などを図る。

東建コーポ

祝い金・見舞金を増額

同社の新入社員を含む正社員5800人を対象にする。社員の結婚や出産に対する祝い金を1・5～3倍に増額し、それぞれ3万～7万円を支給する。従来は社員が亡くなった場合、勤続年数により20万～40万円だったが、今後は100万～500万円に増額する。これに会社が積み立てている保険金加わる。

待遇を改善、人材定着

例えば勤続年数が10年以上の主席課長級の社員本人が業務中に亡くなった場合、保険金を含め、1420万円となる。いずれも勤続年数により金額は異なる。建設業界では人手不足感が高まっている。同社は16年4月に営業職で大学卒の新入社員を初任給を引き上げた。待遇を高めて、優秀な人材の確保を狙う。

以上